

## 北海道東部で観測された地震前兆 VHF 伝播異常

## VHF propagation anomaly before earthquakes observed in the eastern Hokkaido

# 森谷 武男 [1]; 茂木 透 [2]; 高田 真秀 [3]; 西脇 琴美 [4]

# Takeo Moriya[1]; Toru Mogi[2]; Masamitsu Takada[3]; Kotomi Nishiwaki[4]

[1] 北大・理・地球惑星; [2] 北大・理・地震火山センター; [3] 北大・理・地震火山センター; [4] 北大・地震火山センター

[1] Earth and Planetary Sci., Hokkaido Univ.; [2] ISV, Hokkaido Univ.; [3] Inst. Seismology and Volvanology, Hokkaido Univ.;

[4] Inst.Seismology and volcanology, Hokkaido Univ.

2003年から開始した北海道におけるVHF観測は、1月末現在5ヶ所で行われている。2005年からは目標FM放送局を日本全国から北海道全域特に東部と東北地方太平洋側に切り替えて密度を高くし、さらに64MHz帯の移動地震観測用無線機を試験的に使用して対応する地震の同定精度を高めることにした。その結果、従来の日高山脈南部はもとより、十勝沖、根室周辺において確実度の高い統計結果が得られつつある。最近の1年間は北海道東部の地震活動は低かったがいくつかの小地震では伝播異常が観測されている。本発表では異常伝播の記録を中心にポスターを展示する。また64MHz帯の散乱波も新しい観測点根室市落石で2個のM4クラスの地震の前に観測されてこの方式は混信がなく大変有効であることがわかった。この記録も展示する。